

那賀川水系大規模氾濫減災協議会

平成31年2月 取組状況

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- (2) 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項
- ③大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動及び支援

【四国地整】

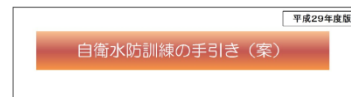
那賀川河川事務所は、2月18日に王子製紙富岡工場にて行われた工場防災訓練に参加しました。

訓練では、震度5強の地震が発生し、津波の可能性があるというシナリオのもとで避難訓練を実施するものであり、部署毎に決められた避難場所に避難し、避難者数や行方不明者の把握が迅速にできるよう工夫されていました。

その後、出前講座として、浸水リスクの説明並びに水害対策の啓発として、近年頻発している水害の発生状況、那賀川流域の概要、洪水時における那賀川の状況の説明や『自衛水防訓練の手引き(案)』による防災情報の資料提供を行いました。

ご参加頂いた方は約500人と今までにない規模での実施となり、多くの方々に那賀川・桑野川の概要及び防災情報を広報できたと思います。

南海トラフ巨大地震への備えはしっかりして頂いたうえで、洪水に対する意識付けもしっかり行ってもらえるよう、今後においても支援を実施していきます。



各段階のテーマ	項目
【STEP 1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	1. 企業の特長
	2. 過去の洪水から学ぶ
	3. 地形の特徴から学ぶ
	4. 最近の雨の降り方と傾向
	5. 「想定最大規模の雨」で川が氾濫したら
【STEP 2】 ・洪水時に得られる情報を知る ・タイムラインの考え方を知る	6. 洪水時に得られる情報と読み解き方
	7. タイムラインの考え方
	8. 洪水時の企業の行動を想定
【STEP 3】 ・企業タイムラインの作成	9. 企業タイムラインの作成
【STEP 4】 ・訓練の実施	10. 訓練の実施



写真-1 避難場所への避難



写真-2 自衛消防による消火活動



写真-3 出前講座の様子